

收受

小金井市公共施設在り方検討委員会

6.11.25

小金井市企画財政部
企画政策課

意見・提案シート

◆公共施設在り方検討委員会の検討内容についてご意見・ご提案がありましたら、以下にご記入の上、企画政策課にご提出ください。次回開催の10日前に届いたものは、公共施設在り方検討委員会で資料として配付します。

1.添付の意見とさせていただきます。ご査収のほど、お願い致します。

市ホームページ更新日2024年10月30日「公共施設在り方検討委員会の
検討委員会の検討状況等についての資料」への意見と質問
に致します。

2.本日資料2,3,4,5,6の議事結果をふまえて、第一回
ワークショップ70日に参加者へ開示及び要点説明後、
市ホームページに掲載し共有を図っていただきたい。

提出日 2024年11月26日

※原文のまま配付しますので、氏名についても公開の対象となります。

氏名 大久保 智絵

(送付先)

小金井市企画財政部企画政策課

〒184-8504 小金井市本町6-6-3 連絡先: 042-387-9800

FAX: 042-387-1224 E-mail: s010199@koganei-shi.jp

資料6「公共施設の在り方・再編方針」のイメージと検討の進め方

1. 公共施設の在り方・再編方針を策定する目的

(意見)ハコありきではなく公共サービスとしての将来ビジョン(あるべき姿)、エリア(生活圏)の考え方、集約・複合化の候補や施設組み合わせの考え方を具体化」について、市民にわかるように、もう少し、かみ砕いて説明してほしい。例えば、現状のままでは、将来、市民ニーズに合わない魅力に乏しい施設になったり、建物設備等の不具合による危険や閉館が見込まれるため、今回、再編方針を策定して、施設を効率的に管理・利活用し、市民ニーズに合った魅力ある施設、サービスの継続性が担保されることで、将来も安心して暮らせる活気ある地域社会を作れるようにしたい。等

2. 検討フローと公共施設の在り方・再編方針(構成案)

(質問 1)「公共施設の在り方・再編方針の策定」は、公共施設の在り方委員会が市の委嘱を受けて、令和6年度から令和7年度までの2年間、計7回の委員会を開催し、議論をまとめ、方針、方策に集約して、提言や答申を行うのでしょうか。

(質問 2) 市は委員会と並行して庁内検討、市民参加条例*に基づきワークショップを開催し、委員会と議論を重ねるのでしょうか。*[siminnsannkajoureikaisei.pdf](#) 小金井市市民参加条例 平成15年6月26日 条例第27号、改正平成21年3月16日 条例第12号、平成24年6月25日 条例第29号

(質問 3) 議論を公平に進めるためにどのような資料を参考にしていますか。資料(情報)を収集し、適切かつ効果的に読み取ってまとめたり、事実をもとに多面的・多角的に考察し公正に判断して、合意形成や社会参加を視野に入れた構想を議論していただきたい。

例：①公共施設白書 ②保全計画に関する資料として、公共施設等総合管理計画 ③将来人口推計調査に関する資料として、小金井市人口ビジョン将来人口推計調査、等

① [小金井市施設白書を作成しました](#) 更新日：2012年6月8日 [untitled](#)・概要版

② [小金井市公共施設等総合管理計画_docx](#) 令和4年3月改定 [koukyousisetukanrigaiyouban2203.pdf](#)・概要版

③ [小金井市人口ビジョン](#) 更新日：2021年5月27日

③ [「公共施設マネジメントの構築に向けて」を作成しました](#) 更新日：2014年4月10日

(質問 4) 地域ニーズの把握、市民の意識について、どのような資料を参考にしていますか。

例：公共施設に関する市民アンケート、施設利用者アンケート、等

[公共施設等総合管理計画\(案\)の市民説明会を開催しました](#) 更新日：2017年4月3日

[公共施設等に関する市民意見交換会について\(報告\)](#) 更新日：2017年4月4日

[公共施設等総合管理計画策定に係るアンケート結果について](#) 更新日：2017年4月4日

資料7 公共施設の現況と課題及び検討の論点

4. 検討委員会での論点(案)＞(意見) 現況から、基本的な考え方を打ち出すと、課題 1～4 の意見を出しやすく・まとめやすくなるのではと思いました。

- (1)公共施設の考え方・・・例「総量抑制：需要に見合った規模での更新、多機能化・集約化などによる見直し」「サービス機能の維持：単一目的から多目的へ、多機能化・複合化への転換、スペースの有効活用、等」
- (2)財政面の考え方・・・例「最適化：施設の転用・多機能化・複合化、民間サービス代替、等」「長寿命化」「歳出削減：需要に見合う施設規模の見直し、管理・運営の効率化等でコスト削減」「歳入確保：跡地など不要財産の売却・貸付等により」

その他(意見) 私達、私達の子孫が暮らす地域社会の将来を考えると、世代の価値観等の情報も少し参考にされると柔軟に話し合いができるように思いました。

参考：[Z世代は何が同じで何が違うのか——古屋星斗 | 研究所員の鳥瞰虫瞰 Vol.4 | コラム | リクルートワークス研究所](#)

[α世代\(アルファ世代\)とは？Z世代との違いや年齢、マーケティングのポイント | Strategy by ipe](#)